

令和5年度 「長野ひまわり幼稚園 自己点検評価・関係者評価」

1. 令和5年度の活動目標

【園の目標】

集団生活に必要な習慣や態度、心情を養い、思いやりの心や乗り越える逞しさを育む。

2. 自己点検

[評価の基準]

- A <十分達成できた> 優れた(水準・内容・環境・対応)である。 1.00～1.49
- B <概ね達成できた> 妥当な(水準・内容・環境・対応)である。 1.50～2.49
- C <あまり達成できなかった> やや不十分な(水準・内容・環境・対応)で改善を要す。 2.50～3.49
- D <ほとんど達成できなかった> 不十分な(水準・内容・環境・対応)であり一層の改善を要す。 3.50～4.00

(R06.03.31)

評価項目	自己点検評価の内容	自己評価	関係者評価
I. 保育の計画性 自己評価 (B) 関係者評価 (B)	1 園の建学精神、教育理念、教育方針の理解	B	B
	2 幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園教育保育要領の理解	B	
	3 教育・保育課程の編成と評価	B	
	4 保育計画の作成	B	
	5 環境の構成	B	
	6 保育と計画の評価・反省	B	
II. 保育の在り方、幼児への対応 自己評価 (B) 関係者評価 (A)	1 健康と安全への配慮	A	A
	2 幼児のみとりと理解	B	
	3 指導と関わり	B	
	4 保育者同士の協力連携	B	
III. 保育者としての資質や能力・良識・適正 自己評価 (A) 関係者評価 (A)	1 専門家としての能力・良識・義務	B	A
	2 組織の一員としての在り方	A	
	3 まわりを感じ取れる感性・アンテナ	B	
IV. 保護者への対応・守秘義務 自己評価 (B) 関係者評価 (A)	1 情報の発信と受信	B	A
	2 協力と支援	B	
	3 守秘義務の遵守	A	
	4 対応上のマナー、良識	A	
	5 クレームへの対処の仕方	A	
V. 地域の自然や社会とのかかわり 自己評価 (B) 関係者評価 (B)	1 地域の自然、人々とのかかわり	B	B
	2 小学校との連携	B	
	3 地域の特性を生かした保育の展開	C	

VI. 保育者の専門性に関する研修と研究への意欲・態度 自己評価 (B) 関係者評価 (A)	1 研修・研究への意欲・態度	B	A
	2 保育者としての専門性に関する研修・研究	B	
	3 遊具、教材に関する専門性の向上	B	
	4 園内の環境に関する専門性の向上	B	
	5 今日の課題（障害アレルギー-危機管理他）に関する専門性の向上	B	
	6 自らを高めるための学習	B	
VII. 保育の在り方、3歳未満児への対応 自己評価 (B) 関係者評価 (B)	1 健康と安全への配慮	B	B
	2 乳幼児のみとりと理解	B	
	3 指導と援助	B	
	4 保育者同士の協力・連携	B	
VIII. 地域における子育て支援 自己評価 (B) 関係者評価 (B)	1 自園の子育て支援事業の理解	B	B
	2 環境設定	B	
	3 支援の姿勢	B	
	4 育児相談	B	
	5 支援の評価・反省	B	
IX. 年間目標 自己評価 (B) 関係者評価 (B)	1 目標の設定と実行	B	B
総合 自己評価 (B) 関係者評価 (A)	保護者の満足度は A(76.3%)、B(22.4%)を合わせると約 99%との高い評価を得ている。保育の質は高いが、専門性向上や環境改善が必要。保育者の姿勢は良好だが、人員不足と保護者・地域との連携強化が課題。全体的には「A」評価。		

※134 項目の評価割合 A 評価 26.12% B 評価 73.13% C 評価 0.76% D 評価 0%

### 3. 保護者評価

[評価の基準]

A <よくできている、よかった、賛成>	1.00～1.49
B <どちらかというと出来ている、賛成>	1.50～2.49
C <どちらかというと出来ていない、よくなかった>	2.50～3.49
D <できていない、反対>	3.50～4.00

Q1 認定区分(回答者)	1号	2号標準	2号短時間	3号標準	3号短時間
	57人(71.4%)	14人(18.2%)	3人(3.9%)	5人(6.5%)	0人(0.0%)

(%)

Q2 園の教育方針	A 76.3	B 23.7	C 0.0	D 0.0
Q3 今年目標の設定内容・取組・成果について	A 74.0	B 26.0	C 0.0	D 0.0
Q4 園の「教育」の内容について	A 67.6	B 31.1	C 1.4	D 0.0
Q5 教職員のお子さまへの対応について	A 67.5	B 31.2	C 1.3	D 0.0

Q6 教職員の保護者さまへの対応について	A 63.6	B 35.1	C 1.3	D 0.0
Q7 園の施設・設備について	A 54.5	B 42.9	C 2.6	D 0.0
Q8 「お便り」「メール」など情報発信について	A 50.6	B 44.2	C 5.2	D 0.0
Q9 感染症への対応について	A 63.6	B 35.1	C 1.3	D 0.0
Q10 給食について	A 87.0	B 11.7	C 1.3	D 0.0
Q11 課外教室について	A 71.7	B 28.3	C 0.0	D 0.0
Q12 写真のネット販売について	A 50.7	B 40.0	C 6.7	D 2.7
Q16 本園を選んで良かったと思いますか	A 76.3	B 22.4	C 1.3	D 0.0

※Q13, Q14, Q15 について複数の選択肢のため省略してあります。

#### 4. 関係者評価

実施日：令和6年3月14日（木） 10:00から

##### I. 保育の計画性 B

子どもたちの社会性を育むための良い取り組みが見られるが、施設利用の計画や安全管理、子どもたちの興味に基づいた行事の実施など、改善すべき点もある。これらの改善点に対処することで、より効果的な保育計画を実現できると思われる。全体的には「B」と評価できる。さらなる改善を目指していくことを望む。

##### II. 保育の在り方、幼児への対応 A

保育の在り方と幼児対応については、子どもたちの自立を支援し、感情に寄り添うなどの良い取り組みが見られるが、集団活動への対応や保育者間の一貫性、計画性の向上など、さらなる改善が求められる。これらの改善点を意識し、実践に移すことで、より質の高い保育を提供できると考える。全体的には「A」と評価できる部分が、改善の余地もあるため、今後も継続的な見直しと改善をお願いしたい。

##### III. 保育者としての資質や能力・良識・適正 A

保育者としての専門性に関する研究や研修への意欲は認められるが、専門知識の更新や個人的なスキルの向上など、さらなる努力が必要。日々の保育においても、子どもたちの鏡となるような行動や発言を意識し、保育の質を高めていくことが大切。全体的には「A」と評価できる。継続的な自己改善と学びの姿勢が求められる。

##### IV. 保護者への対応・守秘義務 A

保護者対応と守秘義務に関しては、保護者の信頼を得るための良い取り組みが見られるが、保護者とのより密なコミュニケーションや、伝え方の改善など、さらなる努力が求められる。これらの改善点を意識し、実践に移すことで、保護者との関係をより強固なものにすることができると思う。全体的には「A」と評価できるが継続的な改善を望む。

##### V. 地域の自然や社会とのかかわり B

地域の自然や社会との関わりについては、子どもたちの社会性を育むための良い取り組みが見られる、散歩の回数を増やす、高齢者との交流を促進する、栽培環境を整備するなど、

さらなる改善が求められる。これらの改善点を意識し、実践に移すことで、子どもたちの地域との関わりを深め、より豊かな学びの機会を提供できると考える。全体的には「B」と評価できるが、地域とのより積極的な関わりを望む。

#### VI. 保育者の専門性に関する研修と研究への意欲・態度 A

保育者としての専門性に関する研究や研修への意欲は認められるが、実践に移すためのさらなる努力が必要。日々の保育に追われる中でも、自己のスキルアップと専門知識の更新に対する意欲を持続し、具体的な行動に結びつけることが大切。全体的には「A」と評価できる部分が多いが、継続的な自己改善と学びの姿勢が求められる。

#### VII. 保育の在り方、3歳未満児への対応 B

保育室の環境は、特に小さな子どもたちにとって非常に重要。適切な設備とスペースがあれば、子どもたちの日常の快適さと安全性が大きく向上し、保育者もより効率的に子どもたちの世話をすることができると思われる。全体的には「B」と評価できる。

#### VIII. 地域における子育て支援 B

地域における子育て支援に関しては、保護者との関係を大切に作る姿勢が評価できるが、自園の保育を理解し、適切に説明できる能力や地域との連携を強化することが今後の課題と考える。これらの改善点に取り組むことで、地域社会における子育て支援の質を高めることができると思われる。全体的には「B」と評価できるが、地域とのより積極的な関わりを通じて、子育て支援の充実を目指すことを望む。

#### IX. 年間目標 B

年度目標に関しては、子どもたちの協力や友情の発展など、多くのポジティブな成果が見られる。興味や関心をさらに引き出すための環境整備や、季節の行事を活用した学びの深化、保育者の数の確保など、改善が必要な領域もある。これらの課題に対処し、より充実した保育環境を提供することが今後の目標となると思われる。全体的には「B」と評価できるが、継続的な改善と発展を望む。

#### [総合判断]

保護者の満足度は A(76.3%)、B(22.4%)を合わせると約 99%との高い評価を得ている。総合的に評価すると、保育の質に対する意識の高さや子どもたちの成長に寄与する取り組みが見られる一方で、保育者の専門性の向上や保育環境の改善など、さらなる努力が必要な領域も明らかになった。保育者としての自己反省や研修への意欲、保護者とのコミュニケーション、地域社会との連携など、多面的な改善が求められると思われる。

全体的には「A」と評価できる。保育者の熱心な姿勢や子どもたちへの深い理解が感じられる。しかし、保育者の数の不足や、保護者や地域とのより密な関わりを築くための具体的な計画も必要と考える。